

BNL—National Neutron Cross Section Center 設立について

百田光雄(日本原子力研究所)

1967年9月15日付で、BNLの原子力工学部の新Divisionとして上記センターが発足したとのことである。このセンターは、従来のシグマ・センター(Neutron Cross Section Compilation Center)とCross Section Evaluation Centerとを統合したもので、S. PearlsteinがActing Directorである。目的は断面積のインフォメーションの保管と検索のための高度に電算機を駆使するシステムを開発すること、断面積解析のための方法の改良とである。実際の運営には広範囲に亘るuserを代表する科学者で構成される諮問委員会の意見が反映される。新しいセンターでは需要者の要請に応じて、SCISRSライブラリの中の実験データ、ENDF(Evaluated Nuclear Data File) AとBの中の評価済みデータを磁気テープに入れて需要者に呈供する。(ENEA加盟諸国は、これらをサクレーのセンターから入手することになる。)なお、SCISRSに収録されているデータのリストはSCISRS Newsletter BNL 50061(本号資料リスト参照)に記載されてある。また、ENDF/BのSpecificationはBNL 50066(本号資料リスト参照)に収録されている。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆